

育成を目指す資質・能力

本時のねらい

「ややこしい」動きの連鎖を考え、材料や仕組みの組合せ方や動かし方などを工夫してつくる。

ICT活用のポイント

ICTを活用したポートフォリオを作成し、必要に応じていつでも自分で見返しながら、自分のつくりたいイメージに合わせて、材料を選択し、加工方法を自分なりに工夫してつくることができる。

ポートフォリオを使って、前時を振り返り、本時の見通しをもつ

材料の組合せ方や動かし方を工夫してつくる

つくった仕組みで遊ぶ

ポートフォリオに、写真や動画、コメントを付けて、本時を振り返り、次時の見通しをもつ

事例の概要

導入

児童は、自分の作成したポートフォリオを振り返り、自分のつくりたいイメージを再確認し、前時までに取り組んでいた活動を振り返ることで、本時に自分が取り組みたいことと方法について、活動の見通しをもつことができる。

展開

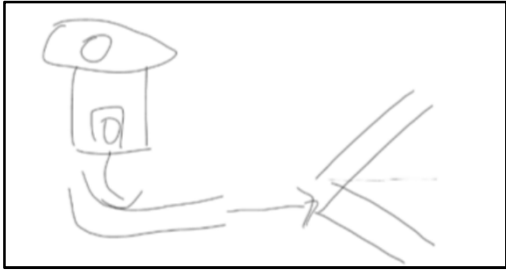
児童は、必要に応じて、自分の作成したポートフォリオを振り返ったり、友達のポートフォリオを見合ったりすることで、作り方や順序を自分で調整して製作することができる。

終末

児童は、ポートフォリオに、写真や動画、コメントを付けることで、自分のつくりたいイメージを更新したり、自分なりの工夫を言語化したりすることができる。

→言語化された自分なりの工夫は、次時以降にも生かすことができる。

【図画工作科小6「ややこし装置研究所～いつものあの動きをややこしくしよう～」】②



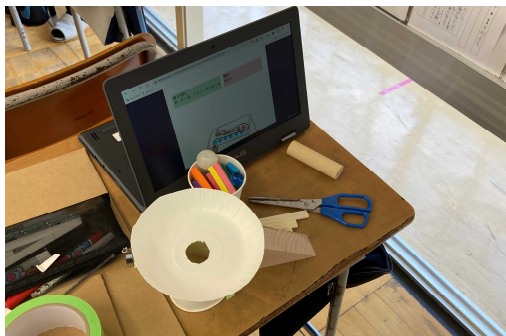
①前時
自分なりに考えた「ややこしい」動きの連鎖についての、前時に描いたアイデアスケッチ



②導入
ポートフォリオを使って前時を振り返り、本時に取り組みたいことと方法を確認する



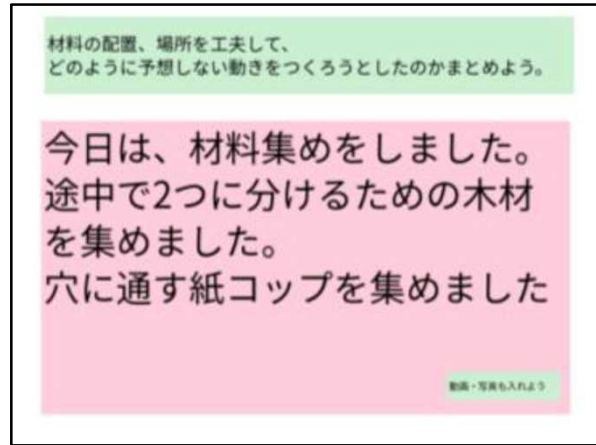
③展開
自分のつくりたいイメージに合わせて、材料を選択し、組み合わせる



④展開
「ややこしい」動きの連鎖についての自分のつくりたいイメージを、必要に応じてポートフォリオで振り返る



⑤展開
材料や仕組みの組合せ方や動かせ方を、友達と遊びながら試す



⑥終末
本時の活動を振り返り、工夫の意図や方法を言語化する



⑦次時
本時の活動を振り返り、次時の活動の見通しをもつ